

- 2-3 第16回ワーカーズ・コレクティブ  
全国会議 in 埼玉 見どころ紹介
- 4 労働者協同組合つどい 法人格移行

## 25年の活動を生かし 次のステップへ 一般社団法人として法人化

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会が創立してから26年目を迎えた今年、「一般社団法人埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会」として法人格を取得しました。

### 新しい挑戦を、中間支援機能の充実のために

当初15団体だった会員ワーカーズは現在40団体となり、事業支援や新たなワーカーズ・コレクティブ設立のための活動を続けてきた連合会は、中間支援機能を少しずつ高めてきました。

今回法人格を取得したことで、法人としての社会的な契約が可能になり、労協法を周知させる事業のような、自治体からの委託事業を受けることもできるようになります。社会に対してアピール

し、会員ワーカーズへ貢献できることもあるはず  
です。

日々変化する社会情勢に対応し、私達連合会はさらに会員ワーカーズと協同する力を発揮し、この民主的で平等な組織を増やす運動を広げていきます。今後とも「一般社団法人埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会」をよろしく願いいたします。

代表理事 後藤 成美



一般社団法人  
埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会  
設立総会 2023.07.09

## 「労働保険事務組合」がある連合会を目指して

ワーカーズ・コレクティブにとっての長年の課題の一つが、労働基準法に準拠した働き方でした。このたび労働保険事務組合の認可取得を目指し動き始めています。

### 代表者も労働保険に加入できる、フラットな働く場、 ワーカーズ・コレクティブならではの事務組合を

代表者もほかのメンバーと変わりなく働き、一人一票の原則で物事を決める平等な組織であるワーカーズ・コレクティブは、雇用労働が前提としてある労働基準法には当てはまらないことが多々あります。

しかし、働く人であることは確かです。地域のワーカーズ・コレクティブでは、既存の規定に沿ったメンバーが代表との雇用関係を結ぶ形を取って労働保険等に参加し、ワーカーズ・コレクティブとしての組織運営を行うところもあります。また、雇用関係がないので労働保険等には参加しないという方針のところもあります。



接客中  
ワーカーズ・コレクティブ  
ふくの輪（越谷市）

今後、世代交代を目指しメンバーを増やしていくためには、労働保険に参加することが求められます。そこで連合会は、代表も加入できて、小さな事業所の負担をカバーしながら保険加入を促進できる「労働保険事務組合」の認可取得を総会で決定し、条件整備を行っています。認可取得後は、個人事業者などをサポートし、加入をお勧めできるようになります。

また事務組合加入事業者だけでなく、ワーカーズ・コレクティブ連合会に集う事業者には、労働保険関連の情報共有などを行い、連合会の中間支援機能の充実を目指していきます。

副理事長 安島 裕美

2024年4月より  
事業開始予定

# 全国のワーカーズ・コレクティブ 川越に集結！！

1/20 (土)  
全体会/  
懇親会

1/21 (日)  
自主企画/  
分科会

1/22 (月)  
オプション  
ツアー

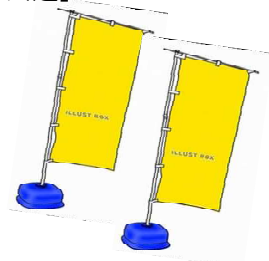


会場となる川越市「ウエスタ川越」

## 第16回ワーカーズ・コレクティブ全国会議 ウエスタ川越で開催

テーマ：いのちと暮らしを守る暖かな経済

「ワーカーズ・コレクティブで広げよう社会的連帯経済」



全国のワーカーズ・コレクティブが集まって  
「こんな働き方、あるのよ」

これまで、市民の協同による事業形態は日本社会にはごく少数であり、私たち実践者は、「ここにワーカーズ・コレクティブあり」と声を大にして存在をアピールする必要がありました。

全国会議は、「この働き方がいいよ！」と社会にアピールすることを目的の一つとして開催し、同時に働く上での課題や雇用労働があたり前な社会の中で協同という手法を取ることにより、働く人でありながら、労働保険の適用がないなど社会の規範の中で協同による労働をどのように広げられるか等々話し合う場でした。

### 15年ぶりに埼玉で開催

2024年1月に15年ぶりに埼玉県川越市で開催することになりました。

15年の間に社会は大きく変わり、私たちがずっと求めてきたワーカーズ・コレクティブ等を規定する法律が「労働者協同組合法」として成立し、2022年10月施行されました。

その一方で働く人の環境は悪化し、非正規労働者は4割とされています。

このような中で、私たちは、働くことに関連した様々な社会の課題やワーカーズ・コレクティブの有効性を発信する全国会議としたいと思います。

全体会  
1/20

市民事業を展開する私たちの強みは連帯すること、資金も労働力も知恵もまとまることで新しいしくみが作れる…

13:00～16:00

### 第1部 社会的連帯経済の魅力と 市民社会の役割

基調講演 藤井 敦史 氏

立教大学コミュニティ福祉学科教授

### 第2部

#### 埼玉から社会的連帯経済を発信

- ・一般社団法人 コンパスナビ
- ・一般社団法人  
埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会
- ・川越市産業振興課
- ・生活クラブ生協埼玉



## 懇親会 1/20

18:30 ~

埼玉の食を担うワーカーズ・コレクティブの自慢のお料理が並びます。  
全国の仲間との交流、活気あふれる各都道府県の連合会の活動報告もあります。お楽しみに！！



## オプション ツアー 1/22

9 時頃 ~ 15 時頃



埼玉の魅力を発見してください。

生活クラブ生協飯能デリバリーセンターの業務を受託する「労働者協同組合つどい」の運営と地域貢献を学ぶ  
三富新田農法と、「ワーカーズ・コレクティブハニーBee」の養蜂事業を学ぶ  
丸木美術館見学と有機野菜のお食事  
蔵のまち川越市の歴史と空き家対策など市民によるまちづくりを学ぶ



## 自主企画 1/21

10:00 ~ 12:00

参加者が自主的に企画して開催！

第1企画 あらためて労働保障を知る  
ワーカーズ・コレクティブ共済(株)

第2企画 事業継続のために必要なことを改めて考える。

事務局ワーカーズ・コレクティブ Larugo

第3企画 ワーカーズ・コレクティブ起業  
相談と労働者協同組合法についての説明  
一般社団法人  
埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会

## 分科会 1/21

13:30 ~ 16:00

社会的連帯経済を実践する  
事業が「あした」をつくる。  
その具体例が示されます。

第1分科会

ともに歩み、みんなでつくろう  
あたたかい社会

第2分科会 地域とつながりながら食事業  
拡大・継続していこう  
~次世代育成を考える!~

第3分科会 「配る」を通して何を解決するのかわ!

第4分科会 「ともに働いていいね!」  
~フラットな働く場づくり~

第5分科会 GSEFの報告から社会的連帯経済を学ぶ  
GSEF(グローバルソーシャルエコノミーファーム)

第6分科会 労働者共同組合法施行1年  
働き方、地域を自治する人を増やしていこう

長い間求めてきた、持続可能で活力ある地域社会の実現を目指す、ワーカーズ・コレクティブ等を規定する労働者協同組合法の施行により、飯能市で生協からの受託事業などを営む「つどい」は 100 名を越す組合員の意志を固めて新しい法人格に移行しました。

# 労働者協同組合 つどい

## 私たちの働き方に最も近い法人組織に

### 企業組合から労働者協同組合に移行

#### 思いを一つにまとめたプロセス

私たちの働き方は、出資と経営と労働が一体となった協同労働という働き方です。私たちの働き方に最も近い法律による法人格、労働者協同組合に移行するために、組織・労働環境を整えてきました。

まずリーダー層の学習会を行い、「法人格変更プロジェクト」を設置しました。

次に全組合員対象の勉強会を開催し、全メンバーへ法人格意向を提案しました。

#### プロジェクトによる定款策定で設立総会へ

労働者協同組合法の目的と基本原理、特徴を捉え、これまでの法人格、企業組合との違いについて学習しました。

新定款と組織変更計画について理事会に提案し、臨時総会を開催、同年4月に「労働者協同組合つどい」に組織変更しました。

#### 共に働く、地域の働き場

「つどい」では受託事業を通して、「働きたくても働き場のない人達が共に働ける、年齢や性別や障害の有無に関係なく様々な人が共に働く、地域の働き場」を目指しています。

現在、知的障がいや精神障がいのある方、子育て中で午前のみ働きたい方、子育てがひと段落した方、引きこもりだった方、65歳を過ぎててもまだまだ働きたい方など多様な仲間が集まり、自分に合った職種・勤務時間のワーカーズで働いています。

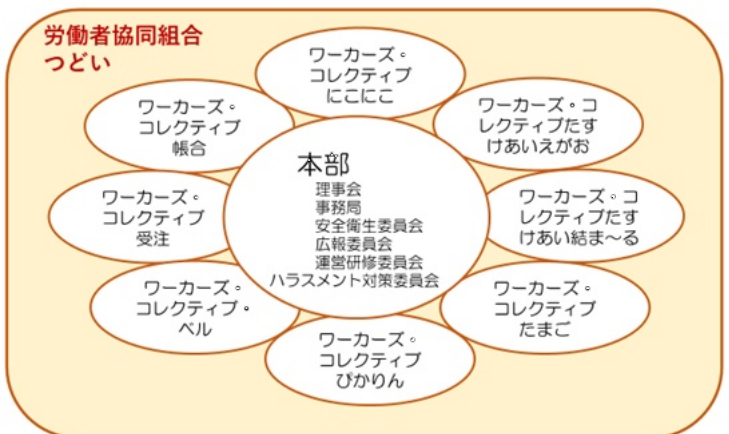


運営研修の様子 世代別に分かれ課題整理

#### これからも変わらないこと

「つどい」では今までも、各業務・事業に関することを、組合員各自がより身近に感じられるように、それぞれの事業で組合員全員が意見を出し合える場を持つことを大切にしてきました。

そして運営会議を決定機関として、課題の整理や解決に向けた話し合いを行いながら運営しています。



「つどい」では現在8つの事業を8つのワーカーズ・コレクティブが運営し、本部事務局は会計・税務など共通部分を担います。理事会は各ワーカーズから選出された理事で構成され、法人全体の組織運営を行います。

自分たちの姿に最も近い法人格をまとい、これから「つどい」は労働者協同組合として、さらに地域社会への役割を果たしていきます。

代表理事 森井 久美子